SAVINGDA 取扱説明書

本取扱説明書は、SAVINGDA の概要、機能、インストール、操作方法について解説します。

ー目　次ー

1．概要（SAVINGDAとは)

地球温暖化が懸念される昨今、消費電力低減による二酸化炭素(温室効果ガス)の排出量削減を図ることは非常に重要な課題であると言えます。パソコンにおいても電力の消費を抑えることで、地球温暖化防止に少しでも貢献すべきではないでしょうか。そのためには、パソコンの消費電力を抑えるためのツールが不可欠となります。
SAVINGDA は、パソコン（OS）が持つ省電力機能（省電力モード）を効率よく活用して、節電効果を上げるための省電力支援ツールです。

SAVINGDA には、大きく分けて「省電力スケジュール機能」と「省電力効果表示機能」の2つの機能があります。

1－1．省電力スケジュール機能

パソコンの運用形態に合わせて省電力機能(*1)を積極的に活用するための機能です。
省電力機能を設定しても、省電力モードに移行するまでの時間が短いと、直ぐに画面が消えてしまい使いづらく、逆に移行時間を長くすると席を外したときに、なかなか省電力モードに移行せず、節電効果が上がりません。しかしパソコンの運用形態は、時間によって異なることが多く、時間帯によって省電力モード移行時間が切り替われば、使い勝手を犠牲にすることなく節電効果を上げることができるわけです。
SAVINGDA には、このような省電力モード移行時間をスケジューリングする機能があります。

使用例： 例えば下記は、午前中(9:00～12:00)は比較的に在席することが多く、昼休み(12:00～13:00)は使用せず、そして午後(13:00～19:00)は会議等で離席することが多い、といったような場合の設定例です。

省電力機能(*1)	モニタの 電源オフ(*2)	ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ 電源オフ(*3)	スタンバイ(*4)	休止状態 (*5)
9:00～12:00	15 分	30 分	1 時間	なし
12:00～13:00	1 分	なし	なし	1 分
13:00～19:00	10 分	10 分	1 時間	2 時間

このように、各時間帯によって省電力モードの設定をきめ細かく行えることにより、省電力機能を効果的に活用できるようになります。この例では昼休み中は休止状態（パソコンの電源を切るため、消費電力は殆ど 0 に近い状態）に入りますので、1 日 10 時間(9:00～19:00)のうち、昼休み 1 時間(12:00～13:00)の消費電力を削減することができ、使い勝手を犠牲にすることなく毎日１０％の節電が可能となるわけです。

*1 省電力機能： Windowsには、一定時間使用していないと省電力モード（モニタの電源オフ、ハードディスクのオフ、スタンバイ、休止状態）に移行する機能があります。例えば、一定時間キーボード入力やマウスが動かされないとパソコンは使われていないと判断されます。この一定時間が過ぎたとき、モニタの電源を切ったりスタンバイ状態にする等の省電力モードに移行させて電力を節約させる機能です。

*2 モニタの電源オフ：一定時間キーボードやマウス入力がないと、モニタの電源を切ります。画面は映りませんが、パソコンは動いており、キー入力やマウスで復帰します。

*3 ハードディスクの電源オフ：一定時間ハードディスクへの読み書きがないとハードディスクの電源を切ります。ハードディスクへアクセスしようとすると自動的に復帰します。復帰の際には、モーターが規定回転数に達するまでに数秒かかります。

*4 スタンバイ：一定時間キーボードやマウス入力がなく、アプリケーション等が待ち状態が続くと、パソコン全体が省電力状態になります。モニタやハードディスクの電源が切れ、CPUも止まりますが、メモリの内容はそのままの状態となっていますので、スタンバイ復帰後も移行前と同じ状態から作業を続行できます。

*5 休止状態：スタンバイと同様ですが、メモリの内容をハードディスクに保存された後、パソコンの電源が切れます。休止状態から復帰すると、ハードディスクに保存されたものがメモリに復元され、移行前と同じ状態から作業を続行できます。ただしハードディスクの読み書きがあるため、スタンバイよりも移行/復帰に時間がかかります。

１－２．省電力効果表示機能

省電力モードへの移行によって、どれだけの節電効果が得られたかを記録し、積算、表示する機能です。節電効果を具体的な数値で確認できるため、節電に対する意識の高揚が促進され、省電力モードの積極的な活用が期待できます。
パソコン使用中、各省電力モード（モニタ電源オフ、ハードディスクオフ、スタンバイ、休止状態）を監視し、移行した時刻および復帰した時刻を記録します。そして任意の時点で、それらの累計が、電力と時間の積である電力量=Wh（ワット･アワー）で表示することができ、トータルでどの位の節電効果を得られているのか把握できるのです。

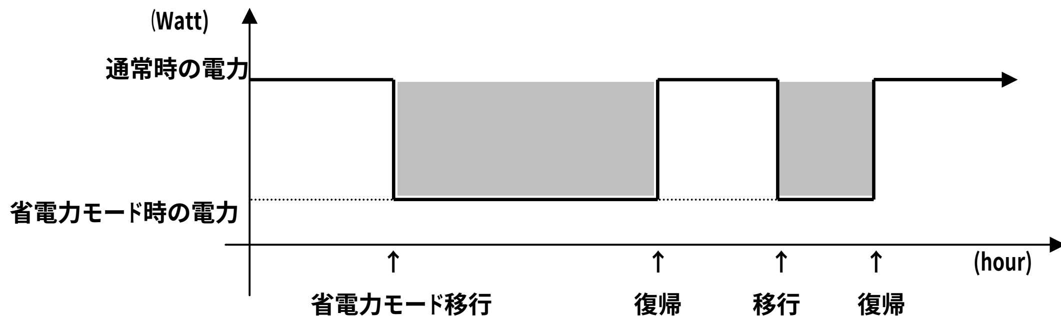


図 1-1. 省電力モード移行復帰を繰り返した場合の消費電力：灰色部の面積が節電できた電力量（Wh）

例えば、モニタ電源オフ(30W の節電)が毎日 100 分(累計)行われた場合、1 ヶ月の合計は、(1 ヶ月を 20 日として、30W×100 分×20 日　)1.0kWh となり、これは消費電力 1,000W(1kW)の電化製品を 1 時間使用した場合の電力を節約したことに相当します。
1kWh の電力を発電するためには、平均で 378 グラムの二酸化炭素が排出される計算になります。（環境省、「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン」より）

２．動作環境

動作対応機種	ＰＣ/ＡＴ互換機(DOS/V 機)（*6)
CPU	Pentium 互換 CPU 133MHz 以上（*6)
メモリ容量	64MB 以上（*6)
ハードディスク空き容量	4MB 以上
オペレーティングシステム（ＯＳ）	Windows 2000 Professional SP4, Windows XP Home Edition SP1/SP2/SP3, Windows XP Professional SP1/SP2/SP3, Windows Vista SP1/SP2, Windows 7（全て日本語版）. （注）上記以外のＯＳ（Windows98, Windows NT等）では動作しません。

＊6　Windows 2000 Professional / XP Home Edition / XP Professional / Vista / 7 が、動作すること。

３．ご使用上の注意

（1） **本ソフトウェアは OS の機能を使用して動作するため、システムが不安定な状態では、機能が正常に動作しない場合があります。**
（2） **本ソフトウェアが表示する省電力効果(電力量)は、平均的な消費電力を基に算出された予測値であり、計測器等を用いて実測した値とは、必ずしも一致するものではありません。省電力量を算出する基礎数値を補正することで、実測値に近づけることは可能ですが、あくまでも目安としてお考えください。**
（3） **Windows2000/XP の場合、管理者権限を持ち、インストールを行った 1 ユーザの環境でのみ動作します。**

4. インストール

SAVINGDA を使用するため、プログラムをパソコンに組み込みます。
まず DA サービスをインストールし、続いて SAVINGDA をインストールします。

4－1. DA サービスのインストール

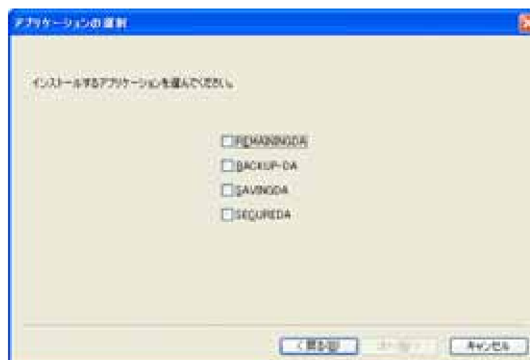
インストールを行う前に、OS が対応 OS であることを確認してください。
また古いバージョンがインストールされている場合、先にアンインストールを行ってください。
※ DA 管理コンソールのインストール手順については、「DA 管理コンソール取扱説明書」を参照してください。

1. クライアント PC で、インストール CD の"Client"フォルダにある"DASetup.exe"を実行してください。
2. DA サービスのインストールとなります。次の画面が表示されたら、「次へ」を押してください。



＜インストーラ起動時画面＞

3. （DA Premium インストール時のみ）インストールするアプリケーションの選択画面を表示します。次の画面が表示されたら、SAVINGDA を選択して「次へ」を押してください。



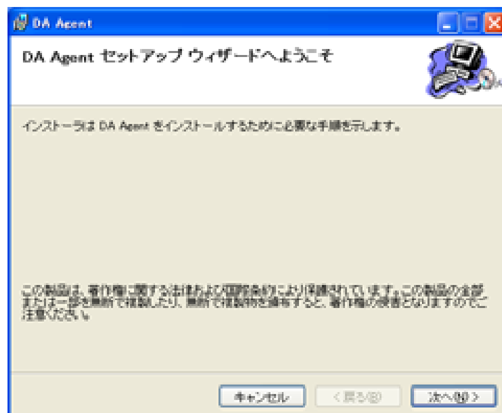
＜DA 選択画面＞

4. インストールの確認画面となります。確認したら、「次へ」を押してください。



＜インストール項目確認画面＞

5. インストールの開始画面となります。準備が出来たら、「次へ」を押してください。



＜インストール開始画面＞

6. ネットワークに用いるポート番号を登録する画面が表示されます。
特に不都合が無い限りポートは初期設定のままで、サーバIPアドレスを入力して「次へ」を押してください。
他のアプリケーションで使用している場合は、別のポート番号を登録してください。



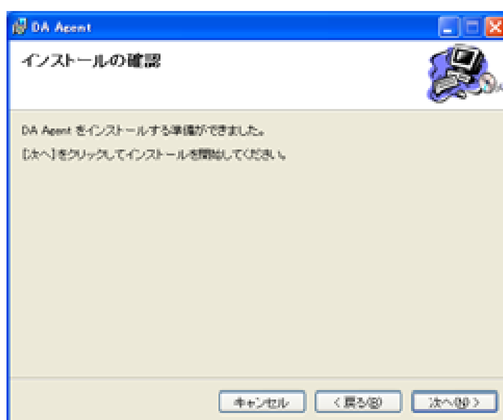
＜初期設定画面＞

7. **インストール先のフォルダを設定する画面が表示されます。**
   インストール先のフォルダを変更したい場合は、パスを指定してください。設定が完了したら「次へ」を押してください。



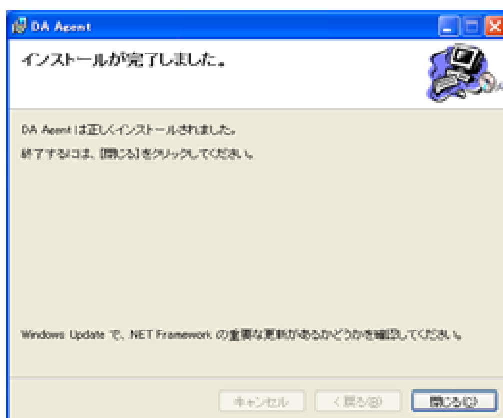
＜インストール フォルダ選択画面＞

8. **下記のインストールの確認を示す画面が表示されますので、「次へ」を押してください。**



＜インストールの確認画面＞

9. **インストールが完了すると、下記の画面が表示されますので「閉じる」を押して、インストールを終了してください。**

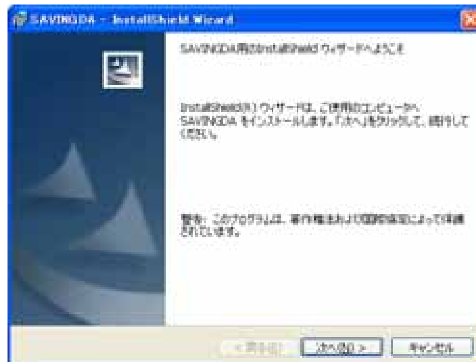


＜インストール完了画面＞

4－2．SAVINGDA のインストール

1．引き続いて、SAVINGDA のインストールが開始されます。セットアップの準備を行います。

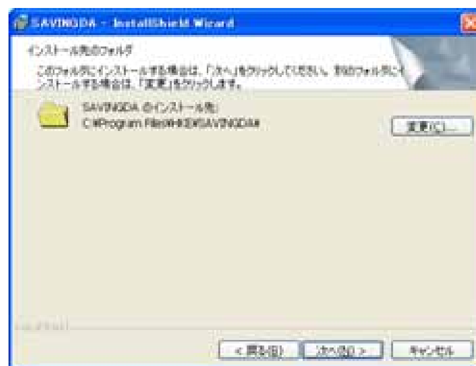
2．準備が完了すると、プログラム導入前に際しての説明が表示されます。内容を確認後、[次へ]をクリックします。



3．使用許諾契約書が表示されますので、内容を確認後、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択した状態で[次へ]をクリックします。



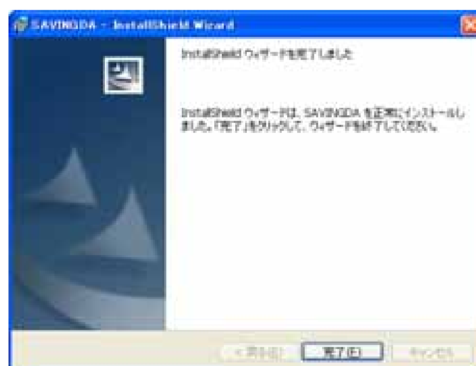
4. インストール先の選択画面が表示されます。ここに表示されたフォルダへインストールする場合は、そのまま[次へ]をクリックします。インストール先を変更する場合は、[変更]をクリックしてインストール先フォルダを変更してから、[次へ]をクリックします。



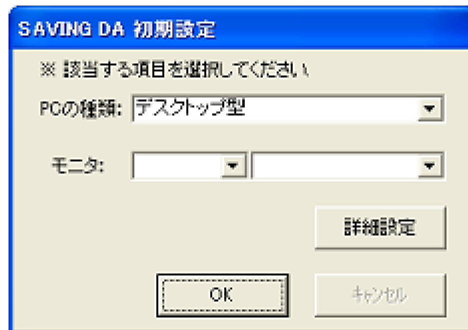
5. 以下の画面が表示されます。[インストール]をクリックします。



6. ファイルのコピーが行われ、以下の画面が表示されます。[完了]をクリックします。



7. SAVINGDA 初期設定の画面が表示されますので、PC の種類（デスクトップ、ノートブック、等々）、モニタのサイズ（インチ）および種別(LCD/CRT)を、それぞれコンボボックスの中から選択してください。すでに選択されている場合は、その選択が正しいか確認してください。（デスクトップ以外は、モニタ種別が「液晶ディスプレイ」固定となります。）



8. セットアップが完了すると、タスクトレイ(画面右下)に緑色の「SDA」アイコンが表示され、省電力が監視されます。



SAVINGDA は Windows のスタートアップに登録され、パソコンを起動すると自動的に SAVINGDA も起動されるようになり、省電力スケジュールや省電力監視動作が開始されます。

4－3．アンインストール

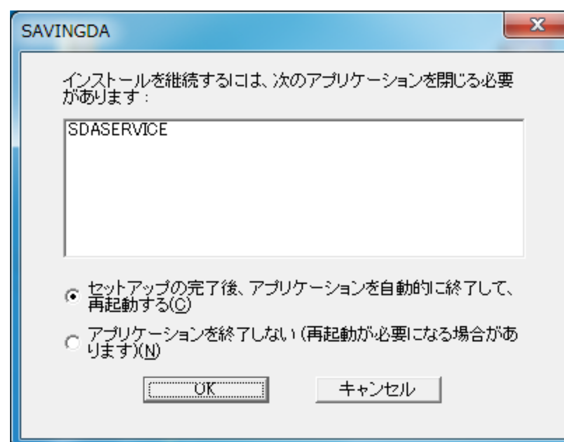
SAVINGDA のアンインストールを行う場合は、事前にタスクトレイ（画面右下）にある緑色の「SDA」アイコンを右クリックし、メニューから「終了」を選択してから、下記を実行してください。

Windows2000/XP の場合

1．「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」（「プログラムの追加と削除」）をクリックします。
2．「プログラムの変更と削除」の「現在インストールされているプログラム」の一覧から「SAVINGDA」を選択して「削除」ボタンをクリックします。
3．Install Shield ウィザードの指示に従い、アンインストールします。
4．完了したら OS を再起動してください。

Windows Vista/7 の場合

1．「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」をクリックします。
2．「プログラムのアンインストールまたは変更」の一覧から「SAVINGDA」を選択して「アンインストール」をクリックします。
3．「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「続行」をクリックします。
4．Install Shield ウィザードの指示に従い、アンインストールします。
5．途中で以下のようなメッセージが表示されたら、タスクトレイに SAVINGDA のアイコンが表示されていないことを確認し、「OK」ボタンを押してください。

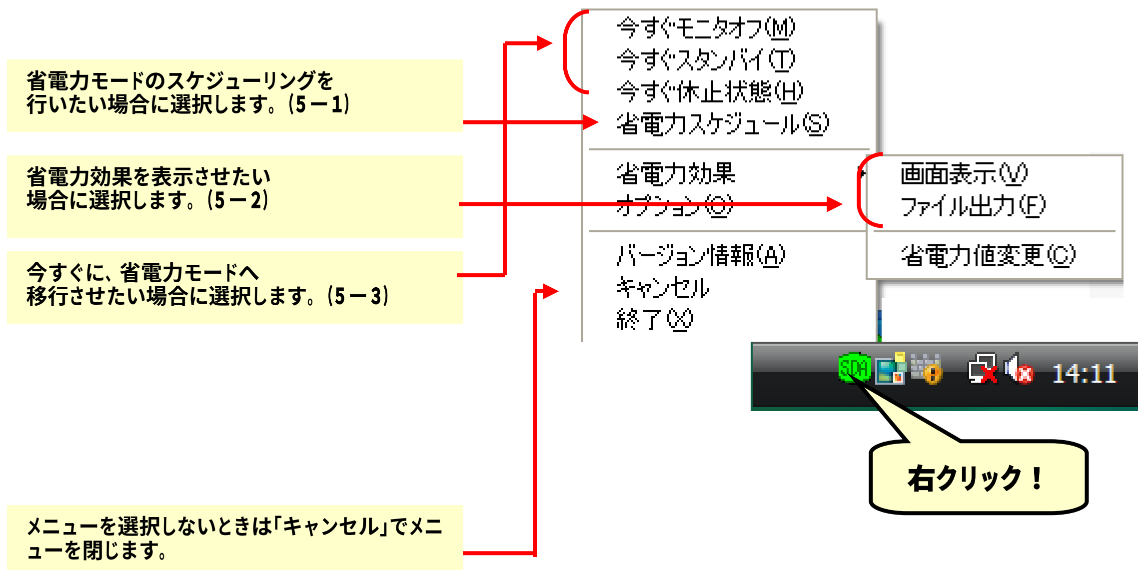


6．完了したら OS を再起動してください。

＊SAVINGDA の設定値や省電力効果値はアンインストールを行っても消去しません。再インストールしたときにこれらのデータを引き継いで動作します。

5．SAVINGDAの操作、設定

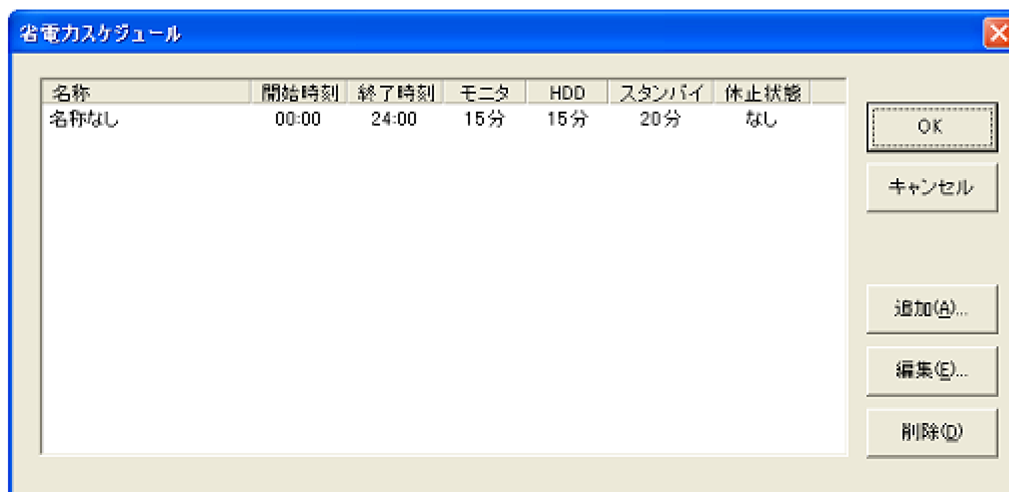
SAVINGDA は、「省電力スケジュール機能」「省電力効果表示機能」「省電力モード移行機能」の 3 つの機能を持っています。これらの機能は、SAVINGDA のメニューの中から項目を選択して実行します。
Windows の画面右下(タスクトレイ)にある緑色の「SDA」アイコンが表示されますので、これを右クリックすると、SAVINGDA のメニューが表示されます。



5－1．省電力スケジュール機能

パソコンの運用形態に合わせて Windows の各省電力機能（*1 2ページ参照）に移行するまでの時間を、指定された時刻になると切り替えを行う機能です。例えば、午前中は比較的に在席することが多く、昼休み(12:00～13:00)は殆ど使用せず、そして午後は会議等で離席することが多い、といったような場合には、以下のように設定します。

1． まず、SAVINGDA のメニューから「省電力スケジュール（S）」を選択します。



2. スケジュールリスト内にある"名称なし"の項目をダブルクリックします。スケジュール編集画面が表示されたら、「名称」を入力(例えば"午前")、「モニタオフ」を"15分"、「HDDオフ」を"30分"、「スタンバイ」を"1時間"、「休止状態」を"なし"に選択します。入力が完了したら[OK]ボタンを押します。

スケジュールの編集

名　称	午前
開始時刻	00 : 00
モニタオフ	15分
HDDオフ	30分
スタンバイ	1時間
休止状態	なし

OK　キャンセル

補足：Windows 2000/XP の場合、[コントロールパネル] - [電源オプション] - [休止状態]タブの、「休止状態を有効にする」がチェックされていないと、休止状態の時間は選択できません。

3. 次に昼休みのスケジュールを設定します。[追加(A)]ボタンを押して、「開始時刻」に"12:00"を入力し、「モニタオフ」を"1分"、「HDDオフ」、「スタンバイ」をそれぞれ"なし"に、「休止状態」を"1分"に選択します。この設定は、次のスケジュールの「開始時刻」まで有効となります。入力が完了したら[OK]ボタンを押します。

スケジュールの編集

名　称	昼休み
開始時刻	12 : 00
モニタオフ	1分
HDDオフ	なし
スタンバイ	なし
休止状態	1分

OK　キャンセル

4. もう一度[追加(A)]ボタンを押して昼休みと同様に午後のスケジュールを設定します。「開始時刻」に"13:00"を入力、「モニタオフ」、「HDDオフ」を"10分"、「スタンバイ」を"1時間"、「休止状態」を"2時間"に選択します。入力が完了したら[OK]ボタンを押します。

省電力スケジュール

名称	開始時刻	終了時刻	モニタ	HDD	スタンバイ	休止状態
午前	00:00	12:00	15分	30分	1時間	なし
昼休み	12:00	13:00	1分	なし	なし	1分
午後	13:00	24:00	10分	10分	1時間	2時間

OK　キャンセル　追加(A)...　編集(E)...　削除(D)

5. スケジュールリストが表示されたら、設定内容を確認します。もし訂正したい場合は、項目をダブルクリックするか、項目を選択して[編集(E)]ボタンを押して変更してください。また、削除したい項目があった場合は、項目を選択して[削除(D)]ボタンを押してください。設定内容に間違いがなければ、[OK]ボタンを押すとスケジュールが開始されます。

上記で設定したスケジュールおよび設定内容は一つの例ですので、実際の運用形態に合わせて、スケジュールの追加･編集･削除を行ってご使用ください。

注意： ノートブック等でバッテリ駆動させた場合、SAVINGDA の省電力スケジュールは機能しません。通常、バッテリ駆動で使われるのは、ほとんどはモバイル使用（出先での使用）であり、その使用状況は、SAVINGDA で設定した省電力スケジュールと合致しないことから、SAVINGDA の省電力スケジュールは、AC 駆動時のみ動作する仕様となっています。バッテリ駆動時の省電力設定変更は、Windows 2000/XP の場合はコントロールパネルの[電源オプション] - [電源設定]の中のバッテリ駆動時の設定内容を変更してください。

5－2．省電力効果表示機能

パソコンの省電力効果（期間内に節電できた電力量=kWh)を確認したい場合に本機能を使用します。
SAVINGDA は、パソコンが省電力モード（モニタ電源オフ、ハードディスクオフ、スタンバイ、休止状態）に移行および復帰した時刻を記録しており、それら省電力モードによって、どれだけ省電力効果が得られたかが画面に表示（またはテキストファイルに出力）されます。

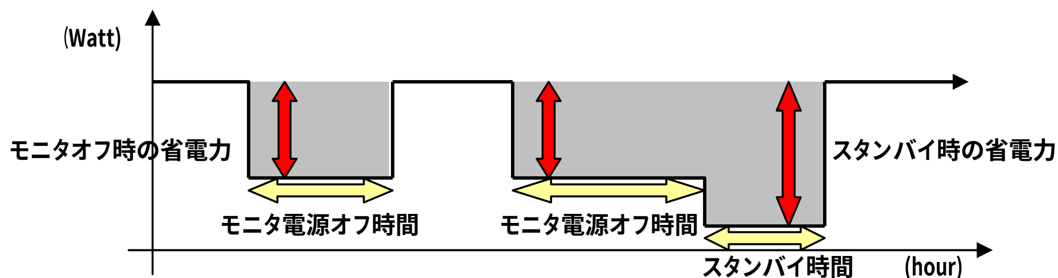
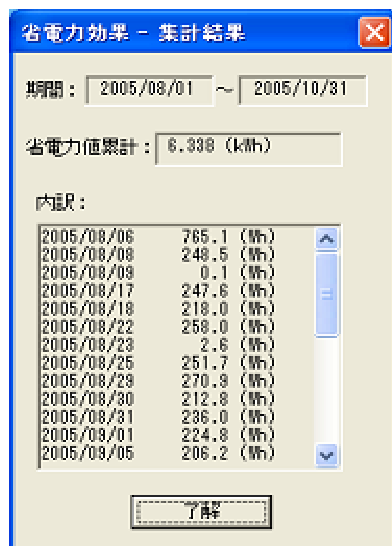


図 5-1. 省電力効果の集計（例）： 灰色部の面積が省電力による効果（Wh）を表す

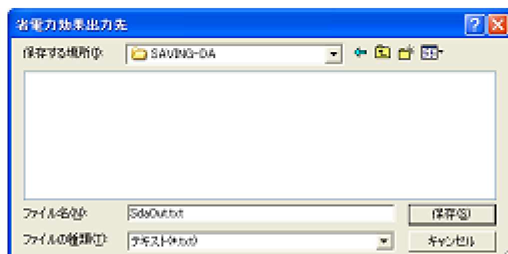
(1) 画面表示

SAVINGDAメニューから「省電力効果」-「画面表示 (V)」を選択すると、省電力効果の集計結果が表示されます。表示される内容は、省電力を集計した「期間」(yyyy/mm/dd～yyyy/mm/dd)、その期間内に節電できた「省電力値累計」(kWh)、そして1日単位での省電力量(Wh)が「内訳」に表示されます(効果が 0Whだった日は表示されません)。確認したら[了解]ボタンを押してください。



(2) ファイル出力

SAVINGDAメニューから「省電力効果」-「ファイル出力 (F)」を選択すると、ファイルの出力先およびファイル名(デフォルトは「SdaOut.txt」)を指定する画面が表示されます。入力するとそのファイルが作成されて開かれます。



出力されたファイルの内容は、省電力を集計した「期間」(yyyy/mm/dd～yyyy/mm/dd)、その期間内に節電できた「省電力値累計」(kWh)、そして1日単位での省電力値(Wh)が「内訳」に出力されます(効果が 0Wh だった日は出力されません)。確認したらファイルを閉じてください。



5－3．省電力モード移行機能

「5－1．省電力スケジュール機能」で設定した省電力機能は、指定の時間が経過しないと省電力モードへ移行しません。それを、今すぐにモニタ電源オフ、スタンバイ、休止状態に移行させる機能です。例えばこれから少しの間、席をはずすような場合、省電力タイマによるタイムアウト時間を待たずに、今すぐにお好みの省電力モードへ移行させてパソコンの節電を行うことができます。

SAVINGDAのメニューから、「今すぐモニタオフ(M)」、「今すぐスタンバイ(T)」、「今すぐ休止状態(H)」の中から選択してください。すぐに各省電力モードへ移行します。

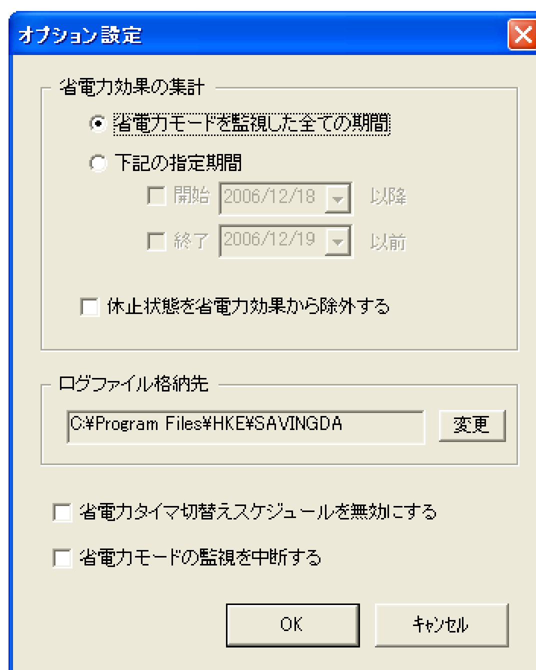
補足：Windows 2000/XPの場合、 [コントロールパネル] - [電源オプション] - [休止状態]タブの、「休止状態を有効にする」がチェックされていないと、「今すぐ休止状態(H)」は選択できません。

5－4．その他の機能

SAVINGDA を更に使いこなすためのオプション設定および拡張機能についての説明です。

5－4－1．オプション設定

SAVINGDAのメニューから「オプション（O））を選択します。



（1）省電力効果の集計オプション

・省電力効果を集計する際の範囲(開始日付以降、終了日付以前、開始日付～終了日付)を指定できます。指定された日付の範囲で累計値が表示されます。

・「休止状態を省電力効果から除外する」をチェックすると、省電力効果を表示する際に休止状態によって節電できた電力量が除かれて計算されます。1日の終わりにパソコンを終了する際、通常はシャットダウンを行いますが代わりに休止状態を用いる使い方があり、そのような場合に、本設定をチェックします。

（2）ログファイル格納先変更オプション（Windows Vista/7 にこの項目はありません）

・[変更]ボタンを押すことにより、省電力モード移行/復帰を記録させるログファイルの格納先を変更できます。（管理者の設定で、本機能がロックされる場合があります）

（3）省電力スケジュール無効化オプション

・「省電力タイマ切替スケジュールを無効にする」をチェックすると省電力スケジュールが無効となり、電源管理はコントロールパネルの[電源オプション]の設定で行われるようになります。

（4）省電力モード監視中断オプション

・省電力スケジュールのみを行いたい場合に、「省電力モードの監視を中断する」をチェックすると、省電力モードの監視（省電力モード移行/復帰の記録）が無効となります。

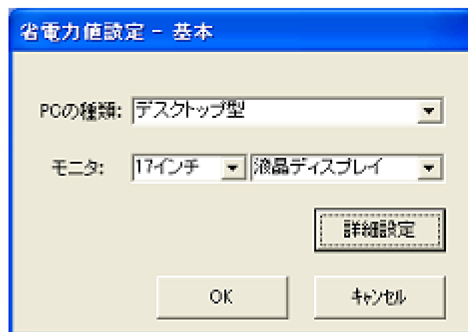
5－4－2． SAVINGDA の終了

SAVINGDA をアンインストールさせたい（または再インストールする）等の場合に使用します。
SAVINGDAのメニューから「終了（X）」を選択してください。
SAVINGDA を終了させた場合、省電力スケジュール機能が働かなくなり、また省電力モードの監視（省電力効果の記録）は行われなくなりますのでご注意ください。

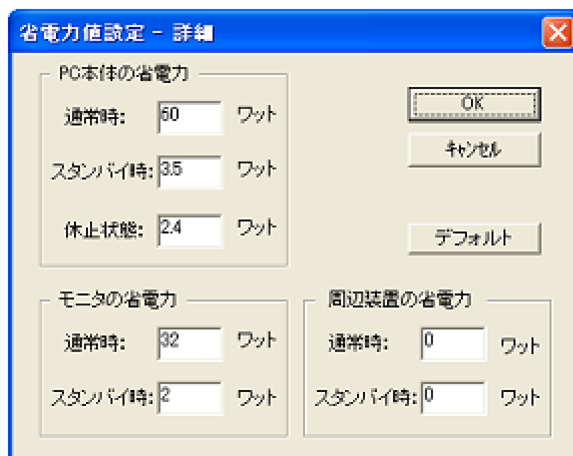
5－4－3．省電力値変更

SAVINGDA がインストールされた状態では、デスクトップ型、一体型デスクトップ、ノートブック型、サブノート型等の平均的な消費電力値を基にした基礎数値から、省電力効果（省電力量）が測定されます。これを、現在ご使用のパソコンや外付けモニタの消費電力（各々の説明書をご参照ください）に合わせて基礎数値を変更し、より正確な値で計算させることができます。
また、パソコンに USB HDD 等の周辺装置を接続している際、パソコン本体がスタンバイ(または休止状態)に移行するとその周辺装置も省電力モードに入るものもあります（周辺装置説明書をご参照ください）。その場合は、周辺装置の省電力値が加わるため、スタンバイ(または休止状態)移行時の省電力値を補正する必要があります。
上記のような場合は、以下のように設定します。

1． SAVINGDAメニューから「省電力効果」-「省電力値変更（C）」を選択し、[詳細設定]ボタンを押します。



2． 該当する項目[PC 本体の省電力]、[モニタの省電力]、[周辺装置の省電力]に、対象装置の消費電力（通常時、スタンバイ時のワット数）を入力して、[OK]ボタンを押します。



補足：
補正する値は使用しているパソコンや周辺装置の説明書の消費電力を参照して設定してください。

省電力効果表示を行うと、（その時に）上記設定した値が使用されて電力量が計算されます。

注意：上記の基礎数値を補正することで、実測値に近づけることは可能ではありますが、計測器等を用いて実測した値とは、必ずしも一致するものではありませんので、あくまでも目安としてお考えください。

6．Q＆A

No	Q （質問）	A （回答）
1	省電力効果とは、どのような単位で表されるのでしょうか。	省電力効果は、節電できた電力量=kWh（キロワット・アワー）で表されます。 例えば、モニタ電源オフ(30W 節電)が毎日 100 分(累計)行われた場合、1 ヶ月の合計は、(1 ヶ月を 20 日として、30W×100 分×20 日　)1.0kWh となり、これは消費電力 1,000W の電化製品を1時間使用した場合の電力を節約したことに相当します。
2	モニタの輝度を変えても、電力消費量は変わらないのでしょうか。	モニタの輝度を変えると消費電力は変わります。モニタによっては、最低輝度と最高輝度で数ワット以上の差が生じることがあります。 SAVINGDA では、中間よりも少し明るめに設定した場合を想定し、省電力値が計算されます。
3	「省電力効果」の省電力値の設定で、モニタのサイズが選択肢の中に該当しません。	ご使用のモニタに近いサイズを選択してください。 もし[詳細設定]で「モニタの省電力」の値（ワット数）を、該当するモニタの消費電力（カタログ値）に変更すれば、より正しい省電力値を集計できます。
4	ハードディスクの電源オフが働いた場合、それは省電力値に反映されるのでしょうか。	ハードディスク電源オフが働いた場合、デスクトップタイプ（3.5 インチハードディスク）で 4W、ノートタイプ（2.5 インチハードディスク）で 0.5W 節電されたものとして記録されます。
5	パソコンに USB HDD 等の周辺装置を接続している場合、省電力効果を補正する必要があるのでしょうか。	パソコン本体がスタンバイ(または休止状態)に移行した場合に、(1)周辺装置も省電力モードに入るかまたは(2)否かによります。（周辺装置説明書をご参照願います） (1)の場合は、[省電力値変更]-[詳細設定]で[周辺装置の省電力]項目に、対象装置の消費電力（通常時、スタンバイ時のワット数）を入力します。 (2)の場合、入力の必要はありません。
6	省電力スケジュール機能で設定しましたが、時間通りにスタンバイ（または休止状態）に移行しない場合があるようです。	スタンバイや休止状態等の省電力タイマーは、OS が、アイドル状態を検出して、一定時間アイドル状態が続くと、スタンバイ等に移行させるものです。 パソコンの使用状態によっては、アイドル状態が短くなって、スタンバイに移行できない場合があります。使用していないアプリケーション等はなるべく終了させておくことをお勧めいたします。
7	モニタ電源オフの状態で、省電力スケジューリングによる切替えが働くと、モニタが一瞬点灯することがあります。	モニタがオフでも、省電力設定が切替わると、OS の仕様によりモニタがオンされてしまいます。SAVINGDA では、再度モニタをオフさせていますが、機種によってタイミングが異なるため、一瞬だけモニタが点灯する場合があります。
8	SAVINGDA を再インストールする際、注意事項はありますか。	画面右下のタスクトレイに緑色のアイコン(SDA)が表示されている時は、SAVINGDA の再インストールを行うことはできません。(SDA)アイコンを右クリックして「終了(X)」を選択してからインストールしてください。（アンインストールは不要です）
9	Windows Vista/Windows 7 で、スケジュールが切り替わったと同時にモニタオフするときがあります。	Windows Vista/Windows 7 では、モニタオフするまでのアイドル時間に、スケジュール切り替え時刻になるまでのアイドル時間も含まれます。たとえばスケジュール切り替え後 1 分でモニタオフの設定で、切り替え時刻までに 1 分以上アイドル状態だった場合、切り替えと同時にモニタオフします。
10	Windows Vista/Windows 7 で、電源オプションの詳細設定タブに表示される「次の時間が経過後休止状態にする」時間が、SAVINGDA の設定値と違います。	「次の時間が経過後休止状態にする」時間は、スリープ状態になってからの時間です。SAVINGDA で表示する「休止状態」の時間は、Windows XP の仕様にあわせてスリープ状態になるまでの時間も含んでいます。

7. 制限事項

No	制限事項	対処方法
1	Windows2000/XP の場合、SAVINGDA のインストールおよび起動を行う場合、管理者権限が必要となります。	SAVINGDA のインストール(初期設定)および各種動作を行う場合に、管理者権限が必要です。管理者権限でログオンしてご使用ください
2	コントロールパネルの[電源のオプション] - [電源設定]の内容 (モニタの電源を切る、ハードディスクの電源を切る、システムスタンバイ、システム休止状態への移行時間) は、SAVINGDA でスケジューリングされた値に書き換わります。	省電力モードへの移行時間の設定(タイマ設定)は、電源のプロパティを使用せずに SAVINGDA のスケジュール設定から変更するようにしてください。
3	ノートブック等でバッテリ駆動させた場合、SAVINGDA の省電力スケジュールは機能しません。	通常、バッテリ駆動で使われるのは、ほとんどはモバイル使用 (出先での使用) であり、その使用状況は、SAVINGDA で設定した省電力スケジュールと合致しないことから、SAVINGDA の省電力スケジュールは、AC 駆動時のみ動作する仕様となっています。 バッテリ駆動時の省電力設定変更は、Windows 2000/XP の場合はコントロールパネルの[電源オプション] - [電源設定]の中のバッテリ駆動時の設定内容を変更してください。

8. お問い合わせ等

お問い合せ先

株式会社　日立ケーイーシステムズ
HP URL　　　http://hke-store.jp/index.html

・PC/AT は米国 IBM Corp.の商標です。
・Pentium は Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
・Windows は米国Microsoft　Corp. の米国及びその他の国における登録商標です。
・SAVINGDA は株式会社日立ケーイーシステムズの登録商標です。
・本製品は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービス及び技術サポートはおこなっておりません。
・本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法律などの規制をご確認のうえ必要な手続きをお取りください。
・記載されている製品の内容は予告なしに変更する場合があります。